

大阪暁明館 だより

2013.Vol.6

大阪暁明館病院 基本理念

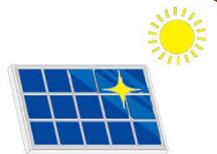
大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

職員行動指針

我々は、

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

大活躍！ 太陽光発電



病院屋上に 太陽光パネルを設置

大阪暁明館病院では、西九条への新築移転を機に、太陽光発電システムを導入致しました。屋上に太陽光パネルを設置し、冬場(1月)で1日98.79kW、夏(7月)には182.59kWを発電、1年間に約53,000kWの電力を供給することができます。

日本のエネルギー資源は海外にほとんどを依存しており、2011年3月



に発生した東日本大震災に伴う電力需給の逼迫や温室効果ガスの排出抑制の必要性から、太陽光や風力、バイオマス、水力、地熱などの再生可能エネルギーに対する期待が高まっています。今回、当院が導入した太陽光発電システムは、原油に換算すると年間13000リットル(ドラム缶65本分)に相当し、二酸化炭素を年間16.44t削減する効果があります。

発電量をリアルタイムで表示

太陽光パネルにより発電された電力は、停電時に非常の電力として用いられ、手術や透析等の重要な機器もストップすることなく使用することが可能です。

当院では、この太陽光発電システムについて、病院1階の売店前に太陽光発電モニターを設け、日差しの強さや気温、発電電力、発電電力量などをリアルタイムでお知らせしています。



妊娠中のインフルエンザ感染 予防対策



産婦人科部長 佐道 俊幸

毎年、冬になるとインフルエンザウイルスの感染によってインフルエンザが流行します。インフルエンザに感染すると高い熱（38℃以上）、さむけ、関節や筋肉の痛み、頭痛などの症状が急激に出てきます。診断は特徴的な症状と鼻汁・咽頭（のどの奥）のインフルエンザウイルスを検出する検査で行われます。インフルエンザに感染した多くの人は1～2週間で自然に治りますが、幼児やお年寄りが感染した場合には重症化し、亡くなってしまうこともあります。妊婦も重症化しやすいことが知られており、十分な注意が必要です。したがって、感染を予防する方法や感染した時の対処法について、正しい知識を身につけておくことが大切です。

① 予防接種（ワクチン）で 予防しましょう

インフルエンザは予防接種である程度予防できます。また、完全に予防ができなくても重症化を防ぐことができることが知られています。したがって、妊娠中であっても流行が始まる前に予防接種を受けることが勧められています。接種は妊娠の全ての時期で可能であるとされています。また、一緒に住んでいる家族の方も接種してもらい、家庭内にウイルスが入りにくい様にすることも重要です。ただし、アレルギーなどで接種をしない方が良い方もおられますので、迷うようでしたら、担当医にご相談ください。



尚、当院産婦人科外来では妊婦のインフルエンザ予防接種を行っていますので、ご希望の方は予約をお取り下さい（一般の成人は内科、子どもは小児科で行います）。

② 手洗いやうがいを しっかりしましょう

手洗いやうがいは感染予防に重要です。特に外出からの帰宅時や食事の前にはしっかりと行いましょう。

③ 人ごみは避けましょう

インフルエンザは飛沫で感染するので、感染が流行しているときは、できるだけ人ごみは避けましょう。また、外出時にはマスクを着用しましょう。

④ インフルエンザの治療

インフルエンザの治療薬（抗インフルエンザウイルス薬）としてタミフルやリレンザなどがあります。これらの薬剤を使用することで胎児に異常が起きやすくなるとの報告はなされていません。したがって妊娠中であっても抗インフルエンザウイルス薬の使用は可能です。原則的には使用をお勧めしますが、最終的にはご本人の判断となりますので使用するかどうか担当医とご相談ください。

お願い インフルエンザが流行している時期に38℃以上の急激な発熱を認める場合はインフルエンザを強く疑います。その様な症状が出た場合は直接受診せず、まず電話連絡をしてください。受診の時間や場所などを指示いたしますので、それに従って受診してください。

第13回開放型病床年次総会開催

10月12日(土)、第13回開放型病床年次総会・病診連携会および懇親会を、大阪市福島区の「ホテル阪神」で開催しました。此花区医師会の木下会長をはじめ、25名の開放型病床登録医の方々にご出席いただき、当院からは平尾名誉院長、坂院長など約30名が参加しました。

平尾名誉院長、木下会長のあいさつに続いて、坂院長が病院の現況について報告。さらなる病診連携の推進を誓いました。

この後、産婦人科の大野木医師が腹腔鏡下手術について、牧野副院長が糖尿病周辺の話題についてそれぞれ講演しました。

会場を別室に移して行われた懇親会では、此花区医師会の板東副会長の首頭で乾杯した後、料理に舌鼓を打ちながら和やかに歓談。最後に牧野副院長が閉会のあいさつを述べ終了しました。



産婦人科・大野木医師の講演



坂院長による病院報告



和やかに懇親会

開放型病床登録医ご紹介

開放型病床登録医…医院・診療所の紹介により入院された患者さまを、当院の医師と共同で診療・治療するために、あらかじめご登録頂いている医院・診療所の先生のことです。

サギス中クリニック

住み慣れた福島区で、近所の方が健康で生活するお手伝いをさせていただきたいという思いで日々診療を行っております。かかりつけ医として、また開放型病床登録医として、病診・診診・医療と介護の連携を大事にしております。どうぞよろしくお願い致します。

診療科目: 内科
院長 塚本 雅子



	月	火	水	木	金	土
10~13時	●	●	●	□	●	●
16~18時30分	●	●	/	△	●	/

休診：日曜・祝日・水曜午後・土曜午後
□：検診(予約制)もしくは往診のみ(一般診療は行っておりません)
△：健診のみ(診察はありません)

女性スタッフだけの
明るいクリニックです!



〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 2-5-13
電話 06-6455-1501 FAX 06-6455-1502
<http://www.myclinic.ne.jp/sagisunaka/pc/>

■阪神「野田」、地下鉄「野田阪神」、
JR「海老江」駅下車、徒歩約8分
■JR「福島」駅下車、徒歩約12分。

第16回 永眠者追悼祈念礼拝

当院で亡くなられた方々の霊を慰める「第16回永眠者追悼祈念礼拝」が、9月28日（土）午後1時30分から当院1階インマヌエルホールで開かれました。

礼拝には、患者さまご家族をはじめ、古城理事長、友清看護部長、当院職員など約40名が参加。大阪暁明館病院伝道所の岸本光子チャプレンの司式のもと、関西学院聖歌隊の皆さんに賛美歌を斉唱して頂きました。

追悼の辞では、古城理事長が「礼拝を通していのちの源である神の平安が天上にある人々の上に、そして地上にあるご遺族の皆さまの上にありますように」と述べ、滞りなく終了しました。



関西学院聖歌隊の皆さん



生活習慣病教室開催 此花女性会の皆さんも参加

10月16日（水）、今年度5回目の「生活習慣病教室」を開催しました。テーマは「生活習慣病と眼の病気」。眼科の石田部長が、白内障の原因や治療についてわかりやすく解説しました。



「糖尿病によって失明することがあります。また高血圧や動脈硬化によって眼の梗塞を起こすことがあります。生活習慣病と眼の病気は密接に関係しているのです」

この日は、此花区地域女性団体協議会の皆さんが学習会の一環として参加。自分たちに身近なテーマだけに、皆さん熱心に聞き入っていました。

協会けんぽの健診 ご利用頂けます！

協会けんぽの「生活習慣病予防健診」を当院でも受けることができるようになりました。被保険者（加入者ご本人）の方は、全国健康保険協会の補助を受け受診していただけます。一般健診は対象が35歳～74歳の方で、自己負担金は6,571円。子宮頸がん検診は、20歳～38歳の偶数年齢の女性の方で自己負担金は600円です。このほか一般健診に追加して受診できる検診もあります。詳しくは当院5階検診センターまでお問い合わせ下さい。

大阪暁明館だより

平成25年10月30日発行



社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条 5-4-8

電話(06)6462-0261(代表)

FAX(06)6462-0362

<http://www.gyoumeikan.or.jp>